

ひかりのそ



社会福祉法人雲柱社
光の園保育学校
2025 年度 11 月号

意味

秋は行事が目白押し！ファミリーデー（幼児クラス対象）、引き渡し訓練、記念館大バザー、4歳児クラスの遠足。11月3週目からはクリスマスに向けてアドベントの期間も迎えようとしています。

ここ数年、行事のあり方に関し光の園保育学校では沢山の話し合いを重ねてきました。“続ける行事”“見直す行事”と単純に分ける「作業」ではなく、それぞれの行事の意味や願い、思いを語り合ってきました。なぜこの行事が続いてきたのか、この行事を通して子どもに何を伝えたいのか、かつての諸先輩方が何を大切にこの行事を続けてきたのか、行事のもつ意味について深掘りしながら見直しは続いています。

これは日常の保育でも同じことがいえます。むしろ日常の保育にこそ「意味にこだわる」要素は詰まっており、些細な日常の子どもへの言葉かけ一つをとっても、なぜ私は今この言葉を使ってそれを伝えようとしているのか（言葉選び）、なぜこのタイミングで声をかけようとしているのか、敢えて声をかけないようにしてみようだとか、自分の表情はどれがふさわしいかななどをよく考えます。そこには必ずそうしようとする意味や意図があり、一度そのなぜ？に立ち返ることで自分の行動を冷静に見ることができます。ここにこだわるとう保育はより面白くなり、より探求したくなるものです。もしかしたらこのこだわりがなくても保育は成立するかもしれませんが、大人にはない素直な視野と柔軟な思考・発想をもつ子どもの世界観を大切にしていくなにも、しつこいくらいに「意味」を考えるという基礎は持ち続けたいと思います。私はよく光の園の職員集団を「愛すべき保育ばか」と表現するのですが（誉めてます!）（あとは「本気でふざける!」というのもあります笑）、いつも事務所内は保育の話でもちきりです。子どもの健やかなる成長のために私たちは今日も「意味」にこだわりながら己の保育を振り返り、時には指摘しあいながら保育ばか街道を突き進んでいきたいと思っています。

齊当 知江

～人間は生きている間はさまざまな体験を通して、新たな「意味」を見出したり創造したりすることを続けます～

「子どもの生きる力を伸ばす5つの体験」（辰巳出版） 汐見稔幸・著より



< 11月の予定 >

- | | |
|---------|---------|
| 3日（月・祝） | 記念館大バザー |
| 6日（木） | 避難訓練 |
| 10日（月） | 収穫感謝礼拝 |
| 13日（木） | 誕生会 |
| 21日（金） | ばら組遠足 |
| 27日（木） | 本園歯科検診 |

< 区立保育園で年末保育を実施します >

☆光の園では実施いたしません。

期間： 12月29日（月）、30日（火）

申込書類は光の園でも配布しています。お声掛け下さい。申込方法等詳細は配布書類をご覧ください。

10月24日の防災訓練、一斉引き取り訓練のご参加ありがとうございました。子どもの命を守るための訓練ですので、来年度以降もご協力よろしくをお願いします。



「Bさんのひざまくら♡」



友だちが大好きな Aさんは、座っていた Bさんの元にハイハイしに行きました。近づきあって見つめ合っていたので“なんだろう？”と傍で見守っていると・・・AさんがBさんの膝の横にそっと頭をのせていました。“重くないかな？大丈夫かな？”と保育者が B さんの表情を見ると Bさんはまるで“Aさんが来てくれた！”とお話しそうなくらいに口を開けて喜んでいて、Aさんの頭を優しく包み込むようにしてそっと頭の上に手を置いていました。

Bさんが一人座りするのが上手になってから膝枕をする姿を見るようになったので、もしかしたら Aさんは“Bさん、座るのが上手になったね”と言うような気持ちだったのかもかもしれません。

2人とも笑顔で嬉しそうに寄り添い合っていたので、保育者も3人目！？として混ざりたい気持ちになりました。(笑)

「あるくのたのしいね」

過ごしやすい季節になり、お散歩にでかける機会が増え、少人数ずつバギーから降りて交代で手つなぎ散歩を楽しむことを始めてみました。友だちと手をつなぐことが楽しくて、友だちの名前を呼んで「一緒に手をつなごう」と誘う姿もあります。片方の手を保育者と、もう片方の手を友だちとつないで歩きだすと、自然と歌をうたったりすれ違う人に「おーい」と手を振ったりしています。その姿は「こんなに歩けるよ。すごいでしょ？」と言って、いるようです。夏を経て子どもたちの成長と共に体力が付いてきているのか、歩くのがとても楽しい様子で、行きも帰りも歩きたいという姿もあります。それぞれの歩くことを楽しんでいるクラスの子どもたちの様をご紹介しますと思います。

〈ももぐみ〉

「みんなでどんぐり探しをしよう！」と手をつないでルンルンでお散歩へ！「どんぐり、あるかなあ？」と話しながら東駒形コミュニティの隣の細い通路を抜けると、どんぐりの木がたくさん！地面を見てみると「どんぐり、いっぱいあるねえ！」「これ、われてるね？」と一つずつ丁寧に確認していく子どもたち。その確認作業がまるでどんぐり職人！？のようでした。拾ったどんぐりは大切にビニール袋の中へ…。満足そうな表情をしながら、「ごはんたべにいい～！」とまた手をつないで帰ります。心なしか、足取りがさらにルンルンしているように見えました😊

〈さくらぐみ〉

手つなぎで歩くと、今まで気づかなかったものにも目が留まり、新たな発見があります。先日、手繋ぎで歩いていると、ハロウィンの飾りがあるお家を発見。飾りを指さして「あった」と、保育者に一生懸命自分が発見したことを伝えようとしていました。そして、ごみ収集車にも出会い、ごみが次々と飲み込まれて行く様子に足を止める子どもたち。少し離れた所からしばらく見学しました。バギーに乗っているだけでは出会えない、子どもたちとゆっくり歩くからこそ出会えた瞬間でした。



たんぽぽ・すみれ組
(2歳児)

ファミリーデーの【ラーメン体操】の熱がまだまだ冷めない子どもたちは、今日もアツアツのラーメン作りに夢中です。保育者がお皿を作るとそこに麺が入り次々に具材も増えました！粘土を使用し、手のひらを大きく広げてクルクルと回しながら丸くしたり、こぶしを握りしめドンドンとたたいてみたり、細長くした後に細かく切ってみたり！今までは「先生やってー」といった声がたくさんありましたが、今では子どもたち同士で「どうやるの？」「手伝って」と声を掛け合っています。出来上がった料理には名前もつき、みんなの手先の器用さと発想力の詰まったメニューの誕生です。そしてその横では、両手を広げ両足を横に開き中腰になりながら何とも言えない横揺れ運動！『♪ツルツルツルツルッ』の掛け声とともにラーメンの出来上がりです。



たたいて、
こねて！

この腰の
角度は
なかなか
できない！



らーめんたべたい♪



Sさん作
『めん』

Aさん作
『だんご』

Tさん作
『えび』

だんご入りエビラーメン

命名は
子どもたち

Nさん作
みごとな、めんさばき

もっと大きなエビがいいと、
BIGサイズを作ったYさん



ちゅうりっぷ組
(3歳児)

「久しぶりの散歩で」

10月上旬、やっと気温が落ち着いて散歩に出られる日がありました。約3～4ヶ月ぶりの散歩で、正直保育者は出発前からドキドキしていました…“ちゃんと手をつないで歩けるだろうか？”“急に何処かに行ってしまうようなことはないだろうか？”なんて気持ちがあったり、新グループになって初散歩でもあったりしたので心配でした。朝の集まりで、散歩に行くこと、手をつなぐ相手、並び順番を伝えました。この時初めて伝えたペアと順番、覚えきれないだろうとも思っていた部分もあったのですが…出発前、ピロティで手をつないでほしいことを伝えると、集まりで伝えたとおりのペアと順番で並ぶことができました！保育者は思わず拍手してしまう程驚き、もちろん公園にも無事にたどり着き思う存分あそぶこともできました！この3～4ヶ月散歩に出ていなくて気が付かなかったこととはいえ、数か月の子どもたちの成長は凄い！日々子どもたちと接していると、成長を感じ取りやすいところもあります。しかし、子どもたちは少しずつ成長をしているんだなぁと改めて感じた出来事でした！

ばら組
(4歳児)

ペアの話…♡



9月下旬、ばら組の部屋で、珍しく神妙な顔をして待つ子どもたちの姿がありました。その日はゆり組さんとあそぶよ～「やったー！」と話していて、直前に、みんな一人ひとりにペアになってくれるお兄さんかお姉さんができるかも!?と伝えたところ、期待と不安が入り混じった顔に…！いざ、ゆり組との間の仕切り扉を開け、名前を呼ばれたペアのお兄さんお姉さんが自分のところに迎えに来てくれた瞬間に、嬉しいくすぐったい顔に変わるのが印象的でした。その日は、ゆり&ばら組全員でジャンケン列車や玉入れで盛り上がり、普段ばら組だけであそぶ時には「ちょっと見てる」と応援団を希望する子たちも笑顔で楽しんでいて、さっそくお兄さんお姉さんパワーの強さを感じた担任です。そこから、一緒にバルーンをやってみる機会をつくり、ファミリーデーではペアでバルーンを披露しました。バルーンの時も、いつも必ず自分だけのことを迎えに来てくれる自分のペアのお名前、2回目の練習の前にはほとんどの子がおぼえていて、そこにもびっくりさせられました。ファミリーデーは終わりましたが、これからもペアの活動を通して、さらにゆり組さんとの仲を深めてほしいと思っています。



ゆり組
(5歳児)

ソーラン節の舞台裏&裏エピソード

～ゆり組28人の絆と職員の絆の物語～

ファミリーデーでは、子どもたちの力強い踊りと迫力ある掛け声が圧巻でした。全員で踊りたいという気持ちがありましたが当日は欠席になってしまった友だちもいました。そんな中で保育者が子どもたちに「お休みの友だちの名前が呼ばれた時に、みんなで声を出していくのはどうだろう？」とそっと聞いてみるとAさんが「それいいね！やりたい！」と一言。さらにBさんも「おおきなこえで がんばるぞ～！」などと、背中を押してくれる頼もしいゆり組。本番、一人ひとりが緊張する中全力で声を出していて、さらに友だちの思いも一緒に込めた大きな声が、体育館中を包み込んでいました。終わった後の子どもたちは、やりきった清々しさと自信に満ち溢れていた姿がとても印象的でした！良かったな～とみんなで安堵していたのも束の間、ファミリーデー終了後に体育館の床に目印のため貼ってあったテープをはがしてみると…なんと床がバトバトに～！！！！！！でもそこは光の園の団結力。焦る気持ち、疲れがあるにも関わらず他愛もない会話をしながら全力でこすり落とす姿に、職員同士の絆を感じた瞬間であり、子どもたちと光の職員全員で作った最高の1日でした。

ほけん

窓を開けよう

閉め切ったお部屋の中には、ウイルス、菌、化学物質、埃、二酸化炭素などが溜まってきます。エアコンを使っていれば換気ができているように思いがちですが、エアコンには外から酸素を取り込み、有害物質を外へ排出する機能は一般的にないそうです。寒いから、暑いから、花粉が飛んでいるからと窓を開けたくない日は1年をとおしてありますが、換気は季節を問わず必要とされています。数年前には密になっていないか換気はできているかとよく気にかけていましたが、最近では忘れがちですね。厚労省では感染症対策として30分に1回以上、数分間窓を開けることを推奨しています。



おしょくじ

徐々に肌寒い日が増え、温かいものや冬野菜がおいしい季節となりました。これからは感染症が流行する時期でもあります。毎日の食事で風邪を予防し、元気に過ごしましょう！

寒さに負けないための食事

●温かい食事

寒い日には温かい食事、食べ物で体を温めましょう。

●根菜たっぷりの食事

大根やごぼう、人参などの根菜類には、体を温める働きがあります。煮物にすると様々な種類を多くとれます。

●ビタミンAたっぷりの食事

ビタミンAは、ウイルスなどが侵入しやすい鼻や喉の粘膜を強くする働きがあります。小松菜、にら、ほうれん草、レバーなどに多く含まれています。

●食後には果物を

みかんなどの柑橘類や柿に含まれるビタミンCは体の免疫力を強くする働きがあります。



＜署名とカンパのご協力ありがとうございました＞
『子どものよりよい育ちと子育て支援の充実。保育園や認定こども園の保育をよりよくするための要望』
署名 77 筆
カンパ 15,100 円 集まりました。
全国私立保育連盟を通して、内閣総理大臣あてに送ります。

今年は第三者評価のアンケートがあります。
『東京都福祉サービス第三者評価機関
特定非営利活動法人 市民福祉ネットワーク多摩』
に依頼をしています。
保育の質の向上の為にもご協力お願い致します。

11/27 配布 12/11 〆切

今月のやまびこの投書はありませんでした



おひさまブンゴ

1月に五味太郎さんのトークショーに参加してきました。

科学・知識・哲学・言葉・ナンセンスと夕岐にわたる分野の本を手がけている五味さん。質問タイムでは、

「私は鬱傾向があり、時々生きている意味を考えると死にたくなることがあります。五味さんはこんなに楽しい絵本をたくさん描いて(書いて)いますが、死にたい気もちになることはありますか？」

という若者の質問に対して

「いつも！」

とぶっさらぼうに答えていました。
しかし続けて

「人間、死ぬまで生きる」それだけ。

死は選ばなくてもいつか必ずやってくるから。」

とおっしゃったその言葉には、深い優しさがこもっていました。

その後のサイン会では「じょうぶな頭とかれこい体になるために」の本にサインをいただきました。

「光の園 保育学校 おひさま文庫」というあて名のメモを見て
「なげーな!!」とぼやきつつもしっかり書いて下さりました。

おひさま文庫にある五味太郎さんの世界ものぞいてみて下さい。

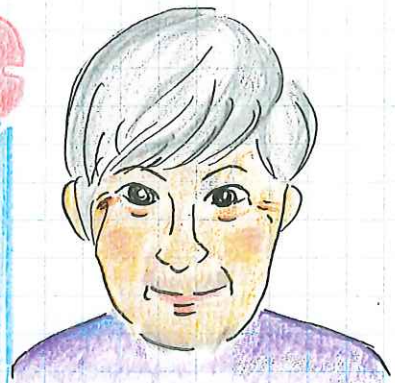
「きんぎょがにげた」 福音館



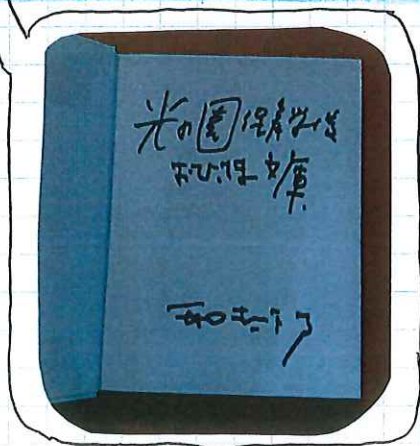
「とまとさんにきをつけて。」 偕成社

「からだのみなさん」 福音館

「じょうぶな頭とかれこい体になるために」
ブロンズ新社



8月に傘寿を迎えた
五味太郎さんは
Silver Greyの髪と髭の
すてきな方





11月

0歳児 つぼみ組

- ・秋の自然の中であそび色々な物に関心、興味をもって過ごす。

1歳児 もも組・さくら組

- ・秋の自然を見たり触れてあそぶ。

2歳児 たんぽぽ組・すみれ組

- ・秋の自然に触れながら身体を十分に動かして楽しむ。

3歳児 ちゅうりっぷ組

- ・自然や身近な素材を知り、楽しむ。
- ・友だちと関わりながら、ごっこあそびを楽しむ。

4歳児 ばら組

- ・身近な社会や仕事に興味を持ち、関心を深める。
- ・友だちと協力したり助け合ったりして表現することを味わう。

5歳児 ゆり組

- ・共通の目的に向かって友だちと協力、工夫しながらあそびを楽しむ。
- ・身近な社会、季節の変化に関心を持ち、自分たちの生活との関係に気づいていく。